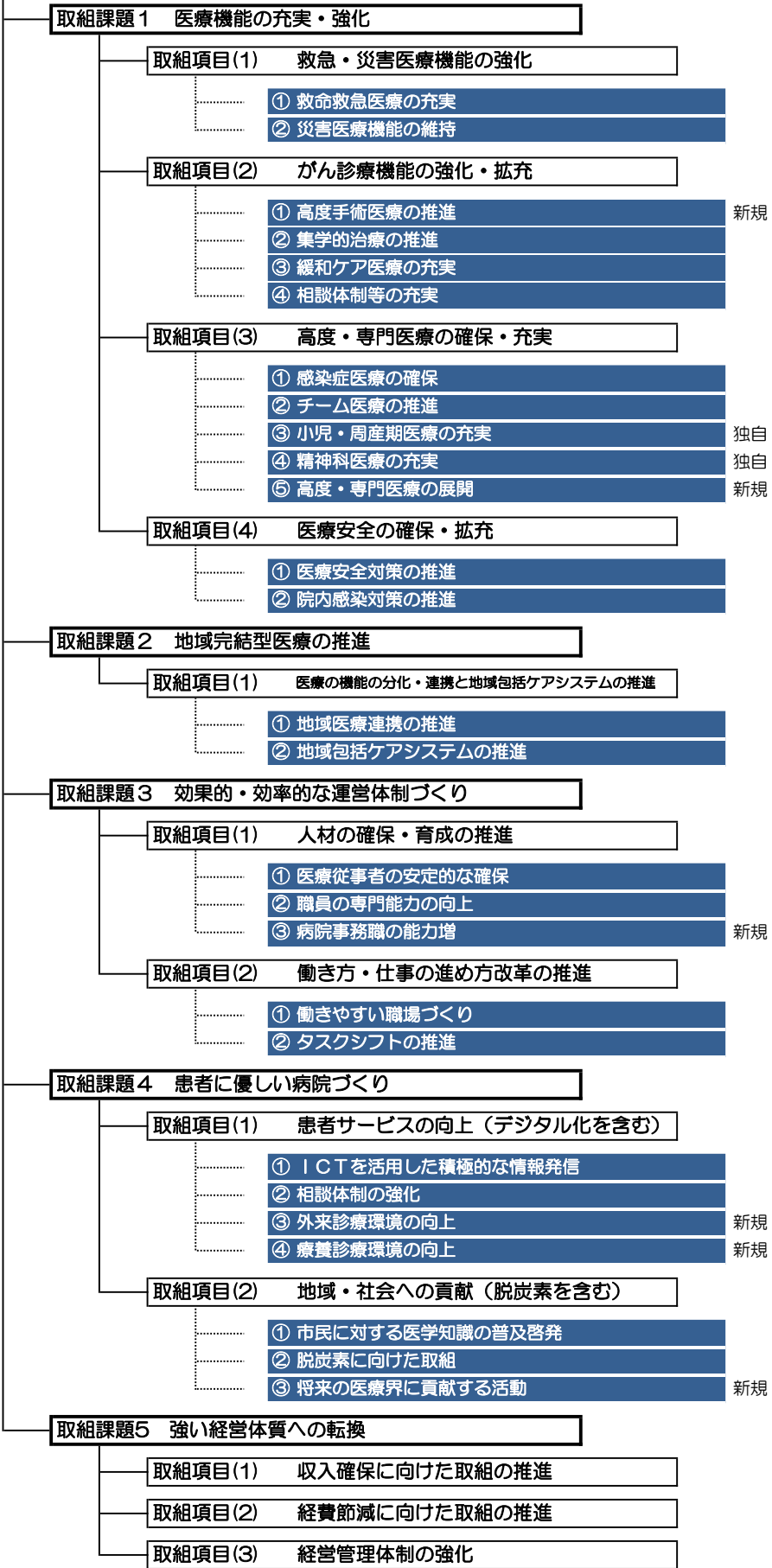


川崎病院

「川崎市立病院中期経営計画2022-2025」  
進捗状況管理シートの構成

目標：信頼される市立病院の運営



目標：信頼される市立病院の運営

## 取組課題1 医療機能の充実・強化

## 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

- ① 救急医療（初期・二次）の強化
- ② 災害医療機能の維持

## 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

- ① 集学的治療の推進
- ② 緩和ケアの推進
- ③ 相談体制等の充実

## 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

- ① 感染症医療の確保
- ② チーム医療の推進
- ③ 成人疾患医療の充実

独自

## 取組項目(4) 医療安全の確保・拡充

- ① 医療安全対策の推進
- ② 院内感染対策の推進

## 取組課題2 地域完結型医療の推進

## 取組項目(1) 医療の機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進

- ① 地域医療連携の推進
- ② 地域包括ケア病棟の維持
- ③ 在宅療養後方支援体制の強化

独自

## 取組課題3 効果的・効率的な運営体制づくり

## 取組項目(1) 人材の確保・育成の推進

- ① 医療従事者の確保
- ② 職員の専門能力の向上

## 取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進

- ① 働きやすい職場づくり
- ② タスクシフトの推進

## 取組課題4 患者に優しい病院づくり

## 取組項目(1) 患者サービスの向上（デジタル化を含む）

- ① ICTを活用した積極的な情報発信
- ② 相談体制の強化

## 取組項目(2) 地域・社会への貢献（脱炭素を含む）

- ① 市民に対する医学知識の普及啓発
- ② 脱炭素に向けた取組

## 取組課題5 強い経営体質への転換

## 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

## 取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

## 取組項目(3) 経営管理体制の強化

目標：信頼される市立病院の運営

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

- ① 救急医療（一次（初期）・二次）の安定的な提供
- ② 災害医療機能の維持

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

- ① 集学的治療の推進
- ② 緩和ケア医療の推進
- ③ 相談体制等の充実

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

- ① パンデミック発生時の体制整備
- ② チーム医療の推進
- ③ 高度・専門医療の展開

新規

取組項目(4) 医療安全の確保・拡充

- ① 医療安全の強化
- ② 院内感染対策の推進

取組課題2 地域完結型医療の推進

取組項目(1) 医療の機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進

- ① 地域医療支援病院の運営と強化
- ② 地域包括ケアシステムの推進

取組課題3 効果的・効率的な運営体制づくり

取組項目(1) 人材の確保・育成の推進

- ① 医療従事者の確保
- ② 職員の専門能力の向上
- ③ 学術活動への積極的参加

新規

取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進

- ① 働きやすい職場づくり
- ② タスクシフトの推進

取組課題4 患者に優しい病院づくり

取組項目(1) 患者サービスの向上（デジタル化を含む）

- ① 分かりやすい情報提供
- ② 利用しやすい施設の強化

取組項目(2) 地域・社会への貢献（脱炭素を含む）

- ① 市民に対する医学知識の普及啓発
- ② 脱炭素に向けた取組

取組課題5 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

取組項目(3) 経営管理体制の強化

**取組課題 1 医療機能の充実・強化**

**取組項目 1 救急・災害医療機能の強化**

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p><b>1 救命救急医療の充実</b></p> <p>高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして、救命・救急の受け入れ能力のさらなる強化により「断らない救急」を目指すとともに、専用ホットラインの運用を進めていきます。また、プレホスピタル活動を充実するために、再編整備に合わせて設置する救急ワークステーションの体制整備を進めます。</p>	<p><b>1 救急医療（初期・二次）の強化</b></p> <p>市内における人口増加や高齢化の進展に伴い救急需要が増大することから、より多くの一次（初期）救急患者、二次救急患者を受け入れられるよう、救急告示病院としての体制を強化します。</p>	<p><b>1 救急医療（一次（初期）・二次）の安定的な提供</b></p> <p>救急災害医療センターの運営にあたりましては、24時間365日の救急患者に関して診療要請を断らない診療体制を構築し、やむを得ず救急患者への対応が困難な場合は、他の救急医療施設との連携を図ります。また、小児救急患者につきましては、川崎市小児科病院群輪番病院として、年間を通して夜間や休日における初期応需機関からの転送患者の受け入れを行うとともに、小児科専門医もしくは小児科救急医療を習得した医師が診療し、原則として、直接小児科病棟に入院します。</p>
<p><b>2 災害医療機能の維持</b></p> <p>災害拠点病院として、災害派遣医療チーム(DMAT)等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害医療企画室を的確に運営し、災害発生時の孤立化(物資供給や電力の途絶など)に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。</p>	<p><b>2 災害医療機能の維持</b></p> <p>神奈川県指定の災害協力病院として、災害発生時には災害拠点病院と連携し、円滑に傷病者等を受け入れられるよう必要な準備を行い、災害医療機能を維持します。また、特に風水害時において医療圏の拠点となるべく、DMAT隊員を育成し、災害拠点病院の指定を目指します。</p> <p>災害発生による物資供給の途絶時に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄に努めます。</p>	<p><b>2 災害医療機能の維持</b></p> <p>災害拠点病院として、災害派遣医療チーム(DMAT)を保有・拡充し、被災地等に医療チームを派遣します。また、災害発生による孤立化(物資供給等の途絶時など)に備え、十分な食料、飲料水、医薬品の備蓄に努めます。</p>

**取組項目2 がん診療機能の強化・拡充**

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p>1 高度手術医療の推進</p> <p>5大がん(胃・大腸・肝・乳・肺)の手術治療、脳外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻科、皮膚科が扱うがんの手術治療に積極的に取り組むとともに、低侵襲な鏡視下手術、内視鏡手術を推進します。また、ロボット手術センターを適切に運営します。</p>	<p>1 集学的治療の推進</p> <p>川崎南部保健医療圏における地域がん診療連携拠点病院として、検診、診断、治療、緩和ケア、在宅と切れ目のないがん診療を提供し、さまざまながん治療の専門家が連携しながら、がん患者ひとりひとりに合わせた治療を進めます。</p>	<p>1 集学的治療の推進</p> <p>消化器がんの診断及び治療、肝がんの集学的治療、消化器早期がんに対する内視鏡的粘膜剥離術、その他悪性腫瘍に対する化学療法を積極的に行います。また、現在既に行っている「地域がん登録(神奈川県)」及び、平成28年1月から開始された「全国がん登録」にも参加します。</p>
<p>2 集学的治療の推進</p> <p>がん患者がその居住する地域において、病状に応じた適切な医療が受けられるよう、がんの手術治療、薬物療法や放射線治療の推進によるがん診療機能の強化・拡充を進め、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を目指します。</p>	<p>2 緩和ケアの推進</p> <p>患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、がんと診断されたときから、外来・入院治療、在宅医療まで、切れ目の無い緩和ケアを提供します。また、地域医療従事者を対象とした研修会を開催するなど、緩和ケアの普及・啓発を担います。</p>	<p>2 緩和ケア医療の推進</p> <p>患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、がんと診断されたときから、外来・入院治療、在宅医療まで、切れ目の無い緩和ケアを提供します。また、地域医療従事者を対象とした研修会を開催するなど、緩和ケアの普及・啓発を担います。</p>
<p>3 緩和ケア医療の充実</p> <p>患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、がんと診断されたときから、外来・入院治療、切れ目の無い緩和ケアを提供します。また、地域医療従事者を対象とした研修会を開催するなど緩和ケアチーム活動を充実させ、緩和ケアの普及・啓発を担います。</p>	<p>3 相談体制等の充実</p> <p>相談者(患者、家族、地域住民等)が必要とする情報の積極的な発信・相談部門の強化など、相談者本位の利用しやすい相談体制の構築に努めます。</p>	<p>3 相談体制等の充実</p> <p>患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、病院の医療機能や患者が必要とする情報の積極的な発信・相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。</p>
<p>4 相談体制等の充実</p> <p>がん相談支援センター(がん相談専門員)を設置し、患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、病院の医療機能や患者が必要とする情報の積極的な発信・相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。</p>		

### 取組項目3 高度・専門医療の確保・充実

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p>1 感染症医療の確保</p> <p>感染症病床を有する市内唯一の第二種感染症指定医療機関として、受入体制を維持・強化し、新型コロナウイルス感染症への対応を継続するとともに、新型インフルエンザや中東呼吸器症候群(MERS)をはじめとする二類感染症患者の受入れを行います。</p>	<p>1 感染症医療の確保</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制の整備・強化を行うとともに、感染対策を徹底します。</p>	<p>1 パンデミック発生時の体制整備</p> <p>地域の基幹病院として、災害時感染制御支援チーム(DICT)を育成し、KAWASAKI 感染制御協議会や川崎市健康福祉局、市医師会、市病院協会とも連携し、パンデミック発生時の医療体制の整備に協力します。</p>
<p>2 チーム医療の推進</p> <p>総合病院として合併症を抱えた患者にも安心して治療を受けていただけるよう、また、入院や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。チーム医療を支える看護師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士などの専門資格取得を支援します。</p>	<p>2 チーム医療の推進</p> <p>入院や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。また、臓器別センター制(消化器センター、呼吸器センター、腎・泌尿器センター)等、複数の診療科間のチーム医療体制の充実に取り組みます。</p>	<p>2 チーム医療の推進</p> <p>総合病院として合併症を抱えた患者にも安心して治療を受けていただけるよう、また、入院や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。チーム医療を支える看護師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士などのサブスペシャリティ資格取得を支援します。</p>
<p>3 小児・周産期医療の充実</p> <p>地域周産期母子医療センターとして、出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で専門的な医療を継続的かつ安定的に提供します。また、市内出生数は減少傾向ですが、ハイリスク妊娠は増加しているため、通常分娩についても積極的に受け入れます。また、効率的な小児救急受入体制の検討を進めます。</p>	<p>3 成人疾患医療の充実</p> <p>糖尿病、慢性腎不全、高血圧、高脂血症、脳及び心血管疾患など、広範囲にわたる成人疾患に対応する質の高い医療を提供します。また、地域の医療機関との連携を図りながら、患者の状況に応じ高度・専門的な医療に対応していきます。</p>	<p>3 その他高度・専門医療の展開</p> <p>循環器内科でのアブレーションを含めたインターベンションの拡充、脳神経外科による脳卒中急性期医療の整備、消化器・一般外科でのダビンチ手術の展開、泌尿器科での前立腺癌に対するトリニティーを用いた正確な診断とダビンチを用いた低侵襲手術など、高度・専門医療のさらなる展開を目指します。</p>
<p>4 精神科医療の充実</p> <p>精神科救急医療基幹病院としての精神科救急患者(措置入院や医療保護入院など)の受入れ、更には精神科病床を有する総合病院としての精神疾患を有する身体合併症患者の受入れをより円滑に行うため、受入体制の強化を進めます。</p>		
<p>5 その他高度・専門医療の展開</p> <p>無菌室の運用による血液内科医療の充実、IVR、心臓カテーテルアブレーション、DBSなどの特殊治療の推進、認知症疾患センターの適切な運営、医療機能再編整備計画に基づく内視鏡センターの強化・拡充、画像診断能力の強化などを進めるとともに、新規高度医療技術の積極的な採用にも取り組んでまいります。</p>		

### 取組項目4 医療安全の確保・拡充

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p>1 医療安全対策の推進</p> <p>医療事故の原因究明や再発防止に積極的に取り組み、質の高い安全で安心な医療を提供します。</p>	<p>1 医療安全対策の推進</p> <p>医療事故の原因究明や再発防止に積極的に取り組み、質の高い安全で安心な医療を提供します</p>	<p>1 医療安全の強化</p> <p>医療事故防止及び迅速な対応のために、職員教育体制を整備し業務改善に取り組み、安全教育の啓発に努めます。</p>
<p>2 院内感染対策の推進</p> <p>院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。</p>	<p>2 院内感染対策の推進</p> <p>院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。</p>	<p>2 院内感染対策の推進</p> <p>院内感染対策に対する職員教育を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。</p>

## 取組課題2 地域完結型医療の推進

### 取組項目1 医療の機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p>1 地域医療連携の推進</p> <p>地域における医療機能の分化に伴い、基幹病院として求められる高度・特異な医療を確実に提供していくため「かかりつけ医制度」を推進し、地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を進めます。地域医療連携会議の開催や連携登録医への訪問、地域連携システムの活用などにより、地域医療機関との関係性を深めます。また、入院センターの活用も推進します。</p>	<p>1 地域医療連携の推進</p> <p>地域における医療機能の分化に伴い、中核病院として求められる高度・特異な医療を確実に提供していくため、地域医療を担う、かかりつけ医との紹介・逆紹介を推進します。</p>	<p>1 地域医療支援病院の運営と強化</p> <p>平成23年3月より地域医療支援病院の運用を開始し、登録紹介医との緊密な連携を構築しています。外来患者の紹介・逆紹介に対する「かかりつけ医制度」を推進します。FAX 検査予約等による検査機器の共同利用による医療機関の機能分化の強化と連携の推進に努めます。また、救急遠隔読影接続システムや地域の医療機関（医院・クリニック等）との地域連携システム（Human Bridge）を運用し、更なる連携を推進します。</p>
<p>2 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・福祉サービス等が適切に提供されるよう、地域の急性期患者を積極的に受け入れます。また、患者の同意を得た上で、地域で活動する医療・介護従事者等との患者情報の共有を進めるとともに、病院・関係機関相互に医療又は介護の知識を深められるよう、出前講座・勉強会・症例検討会を開催します。</p>	<p>2 地域包括ケア病棟の維持</p> <p>地域包括ケア病棟を維持するため、急性期後の回復期リハビリテーション患者に加え、短期滞在手術症例患者や一般病棟からの在宅復帰が見込める患者、レスパイト患者等の積極的な受け入れを進めていきます。</p>	<p>2 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>在宅療養を支援するために、多摩区4か所の訪問看護ステーションと設立した「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」を更に充実させます。また、確立された紹介・逆紹介システムにより、相互のコミュニケーションの強化を図り、医療相談センター5部門の機能を更に充実します。</p>
	<p>3 在宅療養後方支援体制の強化</p> <p>在宅医療を提供している医療機関との連携を密にし、在宅療養後方支援病院としての役割を強化していきます。</p>	

## 取組課題3 効果的・効率的な運営体制づくり

### 取組項目1 人材の確保・育成の推進

川崎病院	井田病院	多摩病院
<p>1 医療従事者の安定的な確保</p> <p>質の高い医療・看護を安定的に提供していくために、優秀な医療人材の安定確保に努めます。</p>	<p>1 医療従事者の確保</p> <p>質の高い医療・看護を継続的に提供していくために、優秀な医療人材の安定確保に努めます。また、医療事務職を増員し、精度の高い診療報酬請求事務等の維持・向上に努めます。</p>	<p>1 医療従事者の確保</p> <p>必要な医療従事者と有資格者の配置、看護師確保のための学校訪問等を行うとともに、臨床研修医の受入れや医学生・看護学生の実習の受入れを実施します。また、医師・看護師の負担軽減を推進します。</p>
<p>2 職員の専門能力の向上</p> <p>人材育成計画に基づき、医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。また、臨床研修指定病院として、将来の医療を担う初期臨床研修医の指導・育成を行います。</p>	<p>2 職員の専門能力の向上</p> <p>人材育成計画に基づき、医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。また、臨床研修指定病院として、将来の医療を担う初期臨床研修医の指導・育成を行います。</p>	<p>2 職員の専門能力の向上</p> <p>認定看護師・診療情報管理士などの育成を更に推し進めます。医師や看護師をはじめ職員の積極的な学会・研修への参加を推奨し、レベルアップ・キャリアアップの機会を提供します。</p>
<p>3 病院事務職の能力増</p> <p>病院事業に関する専門的知識を有する医療事務職の継続的な採用や、職員の育成により、病院業務の理解を深めさせるとともに、精度の高い診療報酬請求事務等の維持・向上に努めます。</p>		<p>3 学術活動への積極的参加</p> <p>指定管理者が学校法人であることを利用し、学術的活動を活性化し、川崎市北部地域でのより高度な医療提供体制の構築を図ります。</p>

## 取組項目2 働き方・仕事の進め方改革の推進

川崎病院	井田病院	多摩病院
1 働きやすい職場づくり 医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるよう、補助者の確保を進めるとともに、フレキシブルな勤務時間体系の整備を検討し、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境を整備します。	1 働きやすい職場づくり 医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境を整備します。	1 働きやすい職場づくり 医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるよう、補助者の確保を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境を整備します。
2 タスクシフトの推進 特定看護師の活用や、病棟薬剤師や医師事務作業補助者、看護助手等の配置により、医師や看護師のタスクシフティングを進め、業務負担の軽減を図ります。	2 タスクシフトの推進 病棟薬剤師や医師事務作業補助者、看護助手等の配置により、医師や看護師のタスクシフティングを進め、業務負担の軽減を図ります。	2 タスクシフトの推進 病棟薬剤師や医師事務作業補助者、看護助手等の配置により、医師や看護師のタスクシフティングを進め、業務負担の軽減を図ります。

## 取組課題4 患者に優しい病院づくり

### 取組項目1 患者サービスの向上（デジタル化を含む）

川崎病院	井田病院	多摩病院
1 ICTを活用した積極的な情報発信 患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、ホームページを活用し、病院の医療機能や患者が必要とする情報の積極的な発信など、利用しやすい病院づくりを進めます。また病棟へのWi-Fi整備も進めてまいります。	1 ICTを活用した積極的な情報発信 患者に分かりやすく利用しやすい情報の積極的な発信など、開かれた病院づくりのもと、患者サービスの向上に努めます。	1 分かりやすい情報提供 市民・患者に対してより理解し易く情報を提供するためにホームページを改訂する。
2 相談体制の強化 患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。また外国人診療に対する対応についても検討してまいります。	2 相談体制の強化 患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。	2 利用しやすい施設の強化 患者相談窓口を一元化した「医療相談センター」において、各種医療福祉制度の活用や退院後の療養環境に関する相談から、看護・栄養・薬剤・リハビリ相談や地域医療機関の御案内など、さまざまな御相談に応じています。
3 外来診療環境の向上 待ち時間の縮減や、診療までの待ち時間通知など、外来診療における患者サービスの向上に努めます。		
4 療養診療環境の向上 入院中の食事やアメニティ、個室整備など、療養診療における患者サービスの向上に努めます。		



## 取組項目2 地域・社会への貢献（脱炭素を含む）

川崎病院	井田病院	多摩病院
1 市民に対する医学知識の普及啓発 患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、市民が健康増進を目指すことのできる活動等を積極的に発信していきます。	1 市民に対する医学知識の普及啓発 患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、市民が健康増進を目指すことのできる活動等を積極的に発信していきます。	1 市民に対する医学知識の普及啓発 市民の健康増進や介護知識の習得に向けた市民健康講座などを、引き続き開催します。
2 脱炭素に向けた取組 設備の高効率化や運用の改善などにより、エネルギー使用量の削減に取り組む。	2 脱炭素に向けた取組 設備の高効率化や運用の改善などにより、エネルギー使用量の削減に取り組む。	2 脱炭素に向けた取組 設備の高効率化や運用の改善などにより、エネルギー使用量の削減に取り組む。
3 将来の医療界に貢献する活動 医師臨床研修、専門医制度選考医研修や新人看護師教育プログラム等をはじめとする医療職への教育、医学部学生、看護学生、薬学部学生など医療系学生への教育を推進します。また、職員による研究活動や学会発表、論文発表、治験参画を支援します。		

## 取組課題5 強い経営体質への転換

### 取組項目1 収入確保に向けた取組の推進

川崎病院	井田病院	多摩病院
施設基準検討会議を中心とした積極的な新規加算等確保、DPC 係数増、診療単価増に向けた取組を推進します。また、効率的な病床運営、効率的な手術室運営を目指します。	医療機能の充実・強化を進めるとともに、限られた人材や病床等の効率的・効果的な活用や、精度の高い診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保に努めます。	医療機能の充実・強化を進めるとともに、病床等の限られた資源の効率的・効果的な活用や適切な診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保を進めます。

### 取組項目2 経費節減に向けた取組の推進

川崎病院	井田病院	多摩病院
働き方・仕事の進め方改革の推進と併せて、職員の時間外勤務の削減を進めます。そのほか、材料費の削減、医療機器整備の適正化、委託契約の見直しを行い経費の節減に努めます。	委託業務の仕様の精査・見直しによる委託料の縮減、診療材料、医療機器等の購入方法や、効率的な在庫管理などにより、経費の節減に努めます。	医療材料や医療機器等の購入費用の節減、材料等の適正な在庫管理などにより、経費の節減に努めます。また、業務改善や効率的な業務執行などにより、時間外勤務の縮減を進めます。

### 取組項目3 経営管理体制の強化

川崎病院	井田病院	多摩病院
病院の経営状況や課題等に係る情報の共有化を徹底し、病院職員の経営意識を醸成します。また、毎年度、各部門ごとに本計画の達成に向けた目標設定を行うとともに、本庁部門と各病院三役等が出席する経営会議を定期的に開催し、その進捗管理を行うなど、経営改革を一層推進します。	病院の経営状況や課題等に係る情報の共有化を徹底し、病院職員の経営意識を醸成します。また、毎年度、各部門ごとに本計画の達成に向けた目標設定を行うとともに、本庁部門と各病院三役等が出席する経営会議を定期的に開催し、その進捗管理を行うなど、経営改革を一層推進します。	各職員が病院の経営状況を把握するために、毎月、各診療部長ならびに部門長・現場責任者の幹部職員が一同に会する会議で、収支報告並びに今後の体制に関する変更内容を周知するとともに、病院上層部と医事、会計、医療情報の各部門が一同に会した経営企画会議を行い、今後の対応を検討します。また、月に一度、法人上層部に収支報告を行い経営改革を推進します。